



さんじょう ひかりしょう
第2回「山上の光賞」

日本の健康・医療分野で活躍する75歳以上の方々を称える

【共催】

一般社団法人 日本病院会 公益社団法人 全日本病院協会
公益社団法人 地域医療振興協会 セルジーン株式会社

「^{さんじょう}山上の^{ひかりしょう}光賞」について

「山上の光賞」は日本の広範な健康・医療分野において素晴らしい活躍をし、よりよい社会を築くことに貢献している 75 歳以上の方々を顕彰するプログラムです。高齢化社会を抱える日本では、高齢と言うととかくネガティブな話ばかりを耳にしがちです。しかしながら、その対極には日本の高齢者が素晴らしい活躍をされている数多くの偉大なストーリーがあります。そこで、高齢を迎えてなお、その豊富な経験、知性、そして知識を駆使しながら、後に続く世代の歩むべき道を照らす「山上の光」として活躍を続けておられる方々を顕彰することにより、更に多くの日本のシニアを勇気づけ、活発な社会の一員として活動し続けることの素晴らしさを伝えることをこのプログラムは目指しています。

「山上の光賞」では、健康・医療に関する様々な分野を対象とし、例えば、医師、研究者、看護師、介護福祉士、NPO 職員等、健康・医療に関連する広範な分野における 75 歳以上の方々の活動を顕彰致します。

全国から募集する候補者の選考は、本プログラムの共催団体、事務局からは独立した審査委員会によって厳正に行われます。「山上の光賞」の審査基準は以下の通りです。候補者はこのうちひとつ以上の項目に当てはまることを期待されます。

- 高潔な人格
- 組織における卓越したリーダーシップ
- 特定の領域におけるニーズに応え、健康・医療の促進に大いに貢献する業績を有する
- 医療サービスの提供における大いなる貢献
- 創造力豊かなアイデアで既存のプログラムの大幅な伸展に貢献した実績
- 健康・医療の分野における斬新なアプローチの導入
- 健康・医療に関わる諸分野での研究における飛躍的な成果（ブレイクスルー）
- 公衆衛生の促進への貢献

候補者の活動が賞賛に値するものであるかを重視し、過去に多くの顕彰を受けている活動も、また逆に「縁の下での力持ち」的な活動であまり世間に知られていない活動も本プログラムの対象とします。また、それぞれの活動が人々の健康や医療に与えたインパクトが重要であると考え、長年にわたる活動も、短期的な活動も共に対象とします。

候補者の推薦にあたっては、その個人が受賞者に相応しい人物であることを示す客観的な評価等を含め、その理由を数値を使うなどして、できるだけ具体的に記載して下さい。なお、推薦者本人以外による推薦状を添付して頂いても構いません。

顕彰部門：

- 医師部門
- 研究者部門（医学、生物学、化学、医療経済学、医療政策研究等を含む健康・医療に関わる広範な分野における研究者）
- 看護・保健部門（看護師、助産師、介護福祉士、セラピスト等を含む）
- NPO・ボランティア部門
- 公衆衛生部門（職種を問わず公衆衛生の促進に貢献する方）

対象： 75歳（2015年12月31日現在）以上の方

応募形式： 他者推薦

応募締切： 2016年2月19日（金）

応募方法： E-mail info@sanjo-no-hikari-sho.com
FAX 03-5776-1474
郵便 「山上の光賞」事務局宛
〒108-0073 東京都港区三田 1-4-28
三田国際ビル 13階 WS 気付

※ 推薦用紙はウェブサイト www.sanjo-no-hikari-sho.com でダウンロードして頂くか、事務局にお問合せ下さい

※ なるべくデータでお送り下さい

受賞者発表： 2016年3月中旬に推薦者と受賞者に通知

第2回授賞式： 2016年5月10日（火）ANA インターコンチネンタルホテル東京にて開催予定

正賞・副賞： 記念杯を受賞者本人へ、賞金100万円を受賞者の所属機関へ贈呈

第1回受賞者：

医師部門	石川 秀雄	宗像医師会医師
医師部門	石川 育成	岩手県医師会会長
医師部門	河合 忠	有限会社国際臨床病理センター所長
研究者部門	小林 寛伊	東京医療保健大学名誉学長 大学院医療保健学科教授
看護・保健部門	川嶋 みどり	一般社団法人日本て・あーて, TE・ARTE, 推進協会代表理事
NPO・ボランティア部門	迫田 時雄	特定非営利活動法人国際障害者ピアノフェスティバル委員会会長
公衆衛生部門	本間 玲子 True	アライアント国際大学・カリフォルニア臨床心理大学院日本校名誉教授 社会福祉法人上越つくしの里医療福祉協会顧問

（受賞時の所属・役職を記載しています。）